Computer Setup
ユーザ ガイド

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Bluetooth はその所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。Intel は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。Java は、米国 Sun Microsystems, Inc.の米国またはその他の国における商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2007 年 6 月

製品番号：448264-291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータでは使用できない場合があります。

目次

1 [Computer Setup]の開始

[Computer Setup]は、プリインストールされた ROM ベースのユーティリティで、オペレーティング システムが動作しない場合やロードしない場合にも使用できます。

注記： このガイドに記載されている[Computer Setup]のメニュー項目の一部は、機種によってはサポートされない場合があります。

注記： [Computer Setup]ではポインティング デバイスを使用できません。項目間を移動したり項目を選択したりするには、キーボードを使用してください。

注記： [Computer Setup]では、USB レガシー サポート機能が有効な場合にのみ USB 接続された外付けキーボードを使用できます。

[Computer Setup]を開始するには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. Windows®が起動する前の、画面の左下隅に[f10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、f10 を押します。

2 [Computer Setup]の使用

[Computer Setup]での移動および選択

[Computer Setup]の情報および設定は、[File]（ファイル）、[Security]（セキュリティ）、[Diagnostics]（診断）、[System Configuration]（システム コンフィギュレーション）の 4 つのメニューからアクセスできます。

1. コンピュータの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[f10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。

   [Computer Setup]は Windows ベースではないため、マウスやタッチパッドには対応していません。項目間の移動および項目の選択は、キーを押して行います。

   - メニューまたはメニュー項目を選択するには、矢印キーを使用します。
   - 項目を選択するには、enter キーを押します。
   - 開いているダイアログ ボックスを閉じて[Computer Setup]のメイン画面に戻るには、esc キーを押します。
   - ヘルプを表示する場合は、f1 キーを押します。
   - 表示言語を変更する場合は、f2 キーを押します。

2. **[File]**、**[Security]**、**[Diagnostics]**、または**[System Configuration]**メニューを選択します。
3. 次のどちらかの方法で[Computer Setup]を終了します。
   - 設定を保存せずに[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して**[File]**→**[Ignore Changes and Exit]**（設定を変更せずに終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。
   - 入力した設定を保存してから[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して**[File]**→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピュータの再起動時に有効になります。

[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の手順で操作します。

1. コンピュータの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[f10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に f10 キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Restore defaults]**（デフォルトに設定）の順に選択し、enter キーを押します。
3. 確認ダイアログ ボックスが表示されたら、f10 キーを押します。
4. 入力した設定を保存してから[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して**[File]**→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピュータの再起動時に有効になります。

注記：　上記の手順で工場出荷時の設定を復元しても、パスワードとセキュリティの設定は変更されません。

3 [Computer Setup]のメニュー

以下のメニュー一覧では、[Computer Setup]のオプションの概要を示します。

注記： この章に記載されている[Computer Setup]のメニュー項目の一部は、機種によってはサポートされない場合があります。

[File]（ファイル）メニュー

オプション	設定内容
System information（システム情報）	● コンピュータおよびバッテリの識別情報を表示します ● プロセッサ、キャッシュおよびメモリ サイズ、システム ROM、ビデオのリビジョン、キーボード コントローラのバージョンの仕様情報を表示します
Restore defaults（デフォルト設定に戻す）	[Computer Setup]の設定を工場出荷時の設定に戻します （このコマンドを使用して工場出荷時の設定を復元しても、パスワードおよびセキュリティ関連の設定は変更されません）
Ignore changes and exit（設定を変更せずに終了）	そのセッションで行った変更をキャンセルします。次に[Computer Setup]を終了し、コンピュータを再起動します
Save Changes and Exit（設定を保存して終了）	そのセッションで行った変更を保存します。次に[Computer Setup]を終了し、コンピュータを再起動します。保存した変更は、コンピュータが再起動されると有効になります

[Security]（セキュリティ）メニュー

注記： ここに示すメニュー項目によっては、お使いのコンピュータでサポートされていない場合があります。

オプション	設定内容
Setup Password（セットアップ パスワード）	セットアップ パスワードを入力、変更、または削除します
Power-On Password（電源投入時パスワード）	電源投入時パスワードを入力、変更、または削除します
Password Options（パスワード オプション）	● 厳重なセキュリティを有効/無効にします ● コンピュータ再起動時のパスワード要求を有効/無効にします
DriveLock Passwords（ドライブロック パスワード）	● システム内のハードドライブの DriveLock（ドライブロック）を有効/無効にします ● DriveLock の user password（ユーザ パスワード）または master password（マスタ パスワード）を変更します 注記： DriveLock の設定を操作するには、コンピュータの電源を入れて（再起動ではなく）[Computer Setup]を起動する必要があります
Smart Card Security（スマート カード セキュリティ）	スマート カードおよび Java™ Card の電源投入時認証を有効/無効にします 注記： スマート カードの電源投入時認証は、オプションのスマート カード リーダーを搭載しているコンピュータでのみサポートされます 注記： この設定を変更するにはセットアップ パスワードが必要です
TPM Embedded Security（TPM 内蔵セキュリティ）	TPM（Trusted Platform Module）内蔵セキュリティのサポートを有効/無効にして、Embeded Security for ProtectTools の所有者機能への不正なアクセスからコンピュータを保護します。詳しくは、HP ProtectTools ソフトウェアのヘルプを参照してください 注記： この設定を変更するにはセットアップ パスワードが必要です
System IDs（システム ID）	コンピュータの、ユーザ定義の Asset Tracking Number（アセット タグ）および Ownership Tag（オーナーシップ タグ）を入力します
Disk Sanitizer（ディスク クリーナ）	メイン ハードドライブにあるすべてのデータを消去するディスク クリーナを実行します。次のオプションがあります ● Fast（高速）：消去サイクルを 1 度実行します ● Optimum（最適）：消去サイクルを 3 度実行します ● Custom（カスタム）：消去サイクルの実行回数を一覧から選択できます ● Last status（前回のステータス）:コンピュータで Disk Santizer を最後に実行したときの情報を提供します 注意： ディスク クリーナを実行すると、メイン ハードドライブのデータは完全に消去されます

[Diagnostics]（診断）メニュー

オプション	設定内容
HDD Self-Test Options（ハードドライブの自己診断オプション）	システム内のハードドライブに対する包括的な自己診断テストを実行します
Memory Check（メモリ チェック）	システム メモリの包括的なテストを実行します
Startup Check（スタートアップ チェック）	コンピュータを起動するために必要なシステム コンポーネントを確認します

[System Configuration]（システム コンフィギュレーション）メニュー

注記： 下記のシステム コンフィギュレーション メニューの一部は、モデルによってはサポートされない場合があります。

オプション	設定内容
Language（言語）（または f2 キーを押す）	[Computer Setup]の言語を変更します
Boot Options（ブート オプション）	● 起動時の f9、f10 および f12 の遅延（キー入力を待つ時間）を設定します ● CD-ROM からのブートを有効/無効にします ● フロッピーディスクのブートを有効/無効にします ● 内蔵ネットワーク アダプタからのブートを有効/無効にし、ブート モード（PXE または RPL）を設定します ● マルチブートを有効/無効にします。マルチブートはシステム内のブート可能なほとんどのデバイスのブート順序を設定できます ● Express Boot ポップアップの遅延を秒単位で設定します ● ブート順序を設定します
Device Configurations（デバイス設定）	● fn キーと左側の ctrl キーの機能を入れ替えます ● USB レガシー サポート機能を有効/無効にします。USB レガシー サポートを有効にすると、次のことが可能になります ◦ Windows オペレーティング システムが実行されていなくても、[Computer Setup]では USB キーボードを使用できます ◦ コンピュータや別売のドッキング デバイス（一部のモデルのみ）の USB ポートに接続されているハードドライブ、フロッピーディスク ドライブ、およびオプティカル ドライブなどのブート可能な USB デバイスからコンピュータを起動することができます ● パラレル ポートのモード（EPP（拡張パラレル ポート）、標準、双方向、ECP（拡張機能ポート））を選択します

オプション	設定内容
	• BIOS DMA データ転送を有効/無効にします • 外部電源使用時のシステムのファンを有効/無効にします • データ実行防止設定（DEP）を有効/無効にします。実行時防止設定を有効にすると、一部のウィルスのコード実行をプロセッサによって無効にでき、コンピュータの安全性が向上します • SATA ネイティブ モードを有効/無効にします • デュアル コア CPU を有効/無効にします • セカンダリ バッテリの高速充電を有効/無効にします • ビットシフトまたは LBA 支援のどちらかの HDD 変換モードを選択します • Windows を直接起動するアプリケーション起動ツールを有効/無効にします • 仮想化テクノロジを有効/無効にします
Built-In Device Options（内蔵デバイス オプション）	• 内蔵無線 LAN デバイスの無線通信を有効/無効にします • 内蔵 Bluetooth®デバイスの無線通信を有効/無効にします • 内蔵ネットワーク コントローラを有効/無効にします • LAN/無線 LAN の自動切り替えを有効/無効にします。有効にすると、LAN が利用できない場合または切断されている場合は無線 LAN に切り替わります • Wake on LAN を有効/無効にします • 周辺光センサを有効/無効にします • オプティカル ディスク ドライブを有効/無効にします • 指紋認証システムを有効/無効にします
Port Options（ポート オプション）	• シリアル ポートを有効/無効にします • パラレル ポートを有効/無効にします • フラッシュ メディア リーダーを有効/無効にします • USB ポート（ExpressCard スロットを含む）を有効/無効にします 注意： USB ポートを無効にすると、ポート リプリケータおよびアドバンスト ポートリプリケータのマルチベイ デバイス（一部のモデルのみ）と ExpressCard デバイスも無効になります • 1394 ポートを有効/無効にします • CardBus スロットを有効/無効にします
AMT Options（AMT オプション）	• Intel® Active Management Technology（AMT）のセットアップ プロンプトを有効/無効にします • 端末エミュレーション モードを選択します

オプション	設定内容
	• USB キー機能のサポートを有効/無効にします • ファームウェアによる詳細制御を有効/無効にします • ファームウェア実行イベントのサポートを有効/無効にします

索引